



『もっと！！本野通信』

No.102

諫早市立本野小学校長 永 井 洋

新年 明けまして おめでとう ございます



2026 年が始まりました。そして今日から 3 学期（まとめ、準備の学期）も始まりました。休みのリズムを早く学校リズムに戻し、それぞれの学年のゴールに向けて、前進できるよう支援します。

始業式では、次のような話をしました。詳しくは裏面に載せておりますのでご覧ください。

①「チャレンジを自信に」そして、次に進もう

②6 年生へのお願い

③まとめの 3 学期 準備の 0 学期

3 学期が、次へのステップ、希望になるように職員一丸となり、指導・支援を続けます。



「チャレンジを自信に」そして、次のステップへ！！

上でも触れましたが、「チャレンジを自信に」について少し詳しく説明します。

「がんばっていること」「チャレンジしていること」「できるようになったこと」は人と比べるものではありません。あくまでも、自己と向き合うものです。どんな些細なことでもいいのです。肝心なのは、努力しようとする気持ちや、取組を工夫することだ



と思います。また、チャレンジは必ず達成できる、成功するとは限りません。時には、失敗したり、挫折したりすることもあります。そんな時に、「どうせだめだ」とか「無理だ」ではなく、「よし次こそは」とか「もっと努力しよう」と思える、「自信」を付けてほしいと思っています。

次は、「そして、次のステップへ」です。これは、皆さんもおわかりでしょう。そうです、進級・進学に備えるということです。学校でよく言われることに、「4 月のスタートラインはみな同じです」というフレーズがあります。わたしは違うと思っています。直前の 3 学期や春休みをどう過ごしたかで、スタートラインは大きく変わってくるのです。そこで、職員みなで「まとめの 3 学期、準備の 0 学期」を共有し以下のことに取り組みます。

①現学年の学習の振り返りを徹底する。

②どこでつまづいているかを確認（特に国語・算数）し、次の学年に確実に引き継ぐ。

③一人一人に、次の学年での的（がんばりたいこと、チャレンジしたいこと）をもたせる。

④的を達成するために必要な標（目標、計画）をもたせる。

このようなことに取り組むことで、意欲を継続させながら、自信をもたせていきたいと考えています。「何ができるようになったのか」「何がまだ足りないのか」をはっきりさせ、希望をもって進級・進学できるようサポートします。

皆さん、あけましておめでとうございます。

冬休みは楽しく過ごせましたか。皆さんが、今日も元気に登校してきていることをうれしく思います。

さて、2026年・令和8年になりました。今年は何年でしょう？そうです、うま年ですね。うまはとても速く、そして長く走ることができる動物です。うまを見たことがある人はわかるでしょうが、とても大きく、元気な動物のように見えます。このようなことから、うま年は、
①元気な年 ②どんどん前進できる年 ③努力が実を結ぶ年 などとされています。
2学期までに頑張ってきた努力やチャレンジをしっかりと実らせ、自信に変えてください。

3学期の「チャレボ5」には、みなさんの「これだけは頑張る」「これにチャレンジする」という決意を先にはります。それに向かって馬のように突き進んでほしいと思います。まわりには、先生方からの励ましや、ヒントが書かれていますから是非読んでください。

そこで、先生たちは、みんなが力強く前進できるように、3学期の合言葉を作りました。一つ目は「まとめの3学期」です。夢や目標をかなえるためには、①「自分で、または教えてもらって目標を立てる」そして、②「立てた目標に向かって、いろいろ考えて努力する」ことが大切です。これまでに努力してきたことを形にする（習慣にする）3学期にしてください。

また、6年生には特別なお願いがあります。1年生から5年生に、「引き継いでほしい本野小学校の良さ」を伝えてほしいのです。最後の大仕事よろしくお願いします。

2つめの合言葉は、次の学年になる「準備の0学期」です。4月からは、それぞれ学年が1学年ずつ上がって、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、5年生は最高学年6年生（リーダー）に、そして6年生は、中学校へと進学します。一つ上の学年としてレベルアップした行動や、話し方ができるように気を付けて生活してほしいのです。ですから、3学期は、次の学年の0学期になるのです。

しっかりとまとめをする3学期、次の学年への準備をする0学期を意識してくださいね。さあ3学期は、50日あまりしかない短い学期です。短いけれど、チーム本野小学校で、頑張りましょう。